

創傷ケアセンター長

綾部 忍  
あやべ しのぶ

日本形成外科学会専門医  
日本創傷外科学会専門医



## 創傷ケアセンターとは

### 慢性創傷治療専門のセンターです。

創傷ケアセンターは、慢性創傷を専門的に扱うセンターです。専門的な訓練を受けた医師を中心とした医療チームにより、一般的には治療が困難とされる慢性創傷の治療に取り組みます。

### 外来で、短時間で集中的に治療します。

創傷ケアセンターでは、外来受診による治療を基本としています。短期間で集中的に治療を行い、また自宅での創傷処置もサポートしていきます。約80%の傷が14週間程度で治癒可能です。

### 多様な創傷に対応します。

糖尿病性下肢潰瘍、血行障害による潰瘍など、慢性創傷の原因は実はさまざまで症状も治療方法も大きく異なります。創傷ケアセンターでは多様なタイプの創傷への対応が可能です。

#### <創傷ケアについて>

最近、糖尿病や動脈硬化の増加により、足の病気が問題になっています。いわゆる糖尿病性下肢潰瘍、血行障害からおこる足の潰瘍、骨の変形が原因でおこる潰瘍などです。

現在、日本では、これらの疾患に対する治療効果は必ずしもよくないのが実情であり、近年、これら難治性の慢性潰瘍に対する専門的な取り組みが着目されています。

そこで、八尾徳洲会総合病院では、足の治療の先進国であるアメリカの技術を取り入れた専門外来である「創傷ケアセンター」を開設しました。足の潰瘍が治らない、足の壊死のため足の切断を勧められたなど、慢性の難治性潰瘍でお困りの方は、ぜひ一度創傷ケアセンターにご相談ください。

## 創傷ケアセンターにおける治療例

### 糖尿病性壊疽・感染合併例

76歳 女性

糖尿病に伴う閉塞性動脈硬化症による血行障害のため、右第5趾が壊疽となった。その後、壊疽部分が感染し、足底に拡大した。

#### 1 初診時



#### 2 下肢 distal bypass 術と同時にデブリードマンを施行。術後から陰圧閉鎖療法を開始した。



#### 3 下肢血管造影 CT

右膝窩から足関節部に静脈を用いた distal bypass が施行されている。



#### 4 術後2か月

切開部に良好な肉芽形成を認める



#### 5 術後10か月

創部は治癒し、再発を認めない。



米国の足病外科医師と連携により、最適な医療を提供いたします。

足病外科医師は米国における外科の一分類として確立された存在で「足の専門医師」です。創傷ケアセンターのスタッフは足病外科学に基づいた専門的なトレーニングを受け、「足病治療の専門チーム」として診療しております。



## もう、治らない・・・ とあきらめていませんか？

従来は治療が難しいとされていた慢性創傷ですが、専門医を中心としたチームによって適切な処置を施せば、その治療は決して不可能ではなくなりつつあるのです。八尾徳洲会総合病院では、この慢性創傷の治療に専門的に取り組む創傷ケアセンターを開設しています。お悩みの方は、まずご相談ください。

## 受診方法

創傷ケアセンターでは**完全予約制**です。まずは、お電話でご予約ください。

**1** **ご予約**  
完全予約制です。  
<予約受付時間>9:00~17:00 (月~金)  
**TEL 072-993-8501 (代表)**  
「創傷ケアセンター」とお伝えください。

**2** **診察**  
毎週月曜日 14:00~16:00  
医師による診察のあと、必要に応じて検査をうけていただきます。  
診察終了時に、次回の診察をご予約ください。

**3** **再受診**  
基本的に週1回、もしくは2週に1回の頻度で通院していただきます。  
場合により入院のうえ、検査・治療を行います。

## アクセス



- 近鉄大阪線 「近鉄八尾」駅より徒歩8分
- 近鉄自動車道 「八尾IC」より車で15分
- 病院送迎用車両

※詳しくはホームページをご覧ください。

診療日 毎週月曜日  
診療時間 14:00~16:00

医療法人徳洲会  
**八尾徳洲会総合病院**  
〒581-0011 大阪府八尾市若草町1番17号  
TEL.072-993-8501  
FAX.072-993-8567  
URL.<http://www.yao.tokushukai.or.jp>

足の潰瘍・壊瘍

## 創傷ケアセンター



医療法人徳洲会

八尾徳洲会総合病院